

感染症情報 8月11日～17日

府下小児科185医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	287例(堺市	10例)
②伝染性紅斑	144例(堺市	8例)
③ヘルパンギーナ	140例(堺市	4例)
④RSウイルス感染症	105例(堺市	8例)
⑤溶連菌感染症	61例(堺市	6例)

府下291医療機関(堺市25)から

インフルエンザ	39例(堺市	1例)
---------	--------	-----

報告数による順位。お盆期間を含み、前週比55.5%減の867件。感染性胃腸炎は府下で前週580例→今回287例、堺市で35例→10例。伝染性紅斑が府下で419例→144例、堺市で33例→8例。ヘルパンギーナが府下で388例→140例、堺市で26例→4例。RSウイルス感染症が府下で153例→105例、堺市で16例→8例。溶連菌感染症が府下で175例→61例、堺市で24例→6例。

インフルエンザは府下で前週55例→今回39例。堺市で前週2例→今回1例であった。全数把握疾患の百日咳は大阪府で68例→28例で、堺市は5例→0例であった。今年入ってからの府内の累積報告数は2,505例となった。

府下291医療機関(堺市25)から

新型コロナウイルス感染症	985例(堺市	89例)	
大阪府定点	3.38	堺市定点	3.56

新型コロナウイルスの定点報告は、府下で1,212例→985例、定点当たり4.16→3.38。堺市は125例→89例、定点当たり5.00→3.56であった。

府下291医療機関(堺市25)から

急性呼吸器(ARI)感染症	5,017例(堺市	442例)	
大阪府定点	17.24	堺市定点	17.68

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より9,677例→5,017例、定点当たり33.25→17.24、堺市で1,006例→442例、定点当たり40.24→17.68であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。